２０２６年１１月９日

各　　位

会　　社　　名　　大成ラミックグループ株式会社
代表者の役職氏名　　代表取締役社長 CEO　　長谷部　正
（コード番号：４９９４　東証スタンダード市場）
問　合　せ　先　　取締役 CFO　　北 條　洋 史
電話番号：0480-88-1158

通期連結業績予想の修正並びに
剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、最近の業績動向を踏まえ、2026年８月７日に公表いたしました2027年３月期の通期連結業績予想を修正するとともに、2026年９月30日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正（増配）を行うことについて、下記のとおり決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

１．通期連結業績予想の修正について

（１）2027年３月期 通期連結業績予想数値の修正（2026年４月１日～2027年３月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想（Ａ）	38,000	2,000	2,100	1,500	247.11
今回修正予想（Ｂ）	38,700	4,700	4,800	3,000	494.22
増　減　額（Ｂ－Ａ）	700	2,700	2,700	1,500	
増　減　率（％）	1.8	135.0	128.6	100.0	
（ご参考）前期実績（2026年３月期）	32,484	2,416	2,502	1,554	250.92

（２）修正の理由

売上高につきましては、主にフィルム部門において、価格面で国内外ともに改定効果が反映されるとともに、米州を中心とする海外の堅調な受注を背景とする数量増加により、前回発表予想を上回る見込みであります。

利益面につきましては、原材料価格の変動（ボラティリティ）が低下し、高値圏で緩やかに上昇すると見込み、加えて米国関税の還付なども寄与し、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益につきましても、前回発表予想を上回る見込みであります。

ただし、原材料の需給逼迫状況は緩和の傾向にあるものの、一部の原材料において引き続きタイトな需給状況が見られるなど、地政学リスクの顕在化に端を発する利益への影響は予断を許さない状況が続いております。さらにユーティリティコストなど遅効性のあるコストの価格変動もあり、加工費への影響も大きい状況です。

今後も環境変化により業績見通しに修正が必要となりましたら、速やかに開示いたします。

（注）上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出しております。
実際の業績は、今後の様々な要因によって予想と異なる可能性があり、再度修正が必要となった場合には速やかに開示いたします。

２．剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正について

（１）剰余金の配当（中間配当）の内容

	決定額 （2027 年３月期）	直近の配当予想 （2026 年８月７日公表）	前期実績 （2026 年３月期）
基準日	2026 年９月 30 日	同左	2025 年９月 30 日
１株当たり配当金	38 円 00 銭	33 円 00 銭	33 円 00 銭
配当金総額	234 百万円	－	206 百万円
効力発生日	2026 年 12 月 10 日	－	2025 年 12 月 10 日
配当原資	利益剰余金	－	利益剰余金

（注）配当金の総額には、信託が保有する自社の株式に対する配当金４百万円が含まれております。

（２）期末配当予想の修正

	１株当たり配当金		
基準日	第２四半期末	期末	年間
前回発表予想 （2026 年８月７日）	33 円 00 銭	37 円 00 銭	70 円 00 銭
今回修正予想	－	42 円 00 銭	80 円 00 銭
当期実績 （2027 年３月期）	38 円 00 銭	－	－
前期実績 （2026 年３月期）	33 円 00 銭	37 円 00 銭	70 円 00 銭

（３）修正の理由

当社は、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、株主の皆様への安定的かつ継続的な利益還元を基本方針としております。

当期におきましては、上記業績予想の修正及び足元の業績動向等を勘案し、株主の皆様の日頃のご支援にお応えするため、2027年３月期の中間配当を１株当たり５円増額し、38円に決定しました。

また、期末配当についても前回予想から１株当たり５円増額して42円に修正することといたしました。

以　上